

平成 29 年度（2017 年度）第 1 学年 4 月入学選抜検査

# 適性検査Ⅱ

平成 29 年（2017 年）2 月 3 日（金）実施

## 注 意

- 1 指示があるまでは、この問題用紙を開いてはいけません。
- 2 問題は 5 ページまであります。
- 3 問題用紙のあいているところは自由に使ってかまいません。ただし、問題用紙にかいたものは採点されません。
- 4 適性検査Ⅱの検査時間は 45 分間です。
- 5 声を出して読んではいけません。
- 6 問題用紙には受検番号と氏名を、解答用紙には受検番号を記入してください。
- 7 問題についての質問は受けません。
- 8 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 9 問題用紙を持ち帰ることはできません。解答用紙と一緒に提出してください。

|      |    |
|------|----|
| 受検番号 | 氏名 |
|------|----|

東京学芸大学附属国際中等教育学校

TOKYO GAKUGEI UNIVERSITY INTERNATIONAL SECONDARY SCHOOL



このページに検査問題はありません。次のページに進んでください。

2016年から8月に「山の日」という新しい祝日ができました。日本では古くから山や森林と親しみ、生活の中に多くの木材を取り入れてきました。我々の生活に欠かせない「木」に関する問いに答えなさい。

問1 「資料1」を読み、日本で木材が多く使われてきたのはなぜか、文章中から理由にあたる部分を二か所抜き出して書きなさい。

### 〔資料1〕日本人と木材の関わり

日本では昔から、家や神社、寺などの建物、炊いたご飯を入れるおひつや寿司桶、酒やしょう油を入れる樽などに木材を使ってきた。静岡県の登呂遺跡では、弥生時代の水田の跡から、たくさんのスギの板が見つかった。この板は水田のあぜを作る板で、スギの木を薄く割ったものであった。スギが真っ直ぐで割れやすいことを、昔の人は知っていた。

建物の柱には、屋根を支えられる丈夫で真っ直ぐなスギやヒノキが使われ、ヒノキは切ってから年がたつほど丈夫になり、千年くらいで最高となる。奈良県にある法隆寺は、世界に残っている木の建物で一番古いものである。木材が建築の材料として使われたのは、日本の夏むし暑くて冬寒い気候に木材の特性が合っていたためである。

おひつや寿司桶は、木目が縦に平行な正目の板を合わせてつくる。正目は水分を吸うので、ご飯の余分な水分を取りベタつきをなくす。樽は、木目が山型になった板目の板を使うので水を通さず、酒やしょう油がもれない。この様に日本で木材がいろいろなところに使われたのは、身近に森がたくさんあって木材が手に入りやすかったためである。

木材は、刃物で削って形や模様をつくれ、表面をつるつるにすることもできる。そのため、木の種類によって異なる性質を使い分けることで、とても役に立つ材料である。お椀は汁を入れるので、ケヤキやトチノキの様なきめ細かい木が適している。タンスには、軽くて、火事になっても燃えにくいキリの木が使われ、畑で使う鍬の柄は、ねばり強くて折れにくいカシノキが適している。まな板は、イチョウやヤナギなどの柔らかい木材が使われることで、包丁の刃も傷まないし、肩もこらない。このように、日本では様々な種類の木材を生活の中にたくさん取り入れてきた。

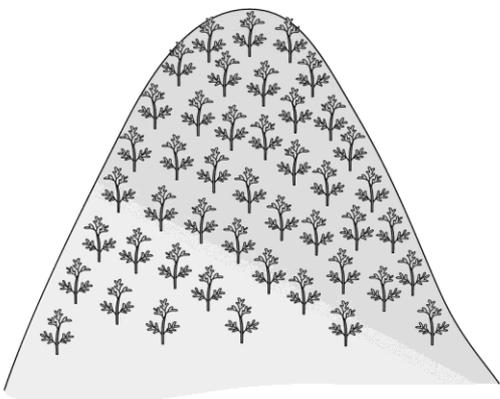
(林野庁ウェブサイト (<http://www.rinya.maff.go.jp>) をもとにし、問題作成のため一部改変しています。)

人々が使う木材を生産するのは林業の役割です。日本の林業の移り変わりとその現状について考えていきましょう。

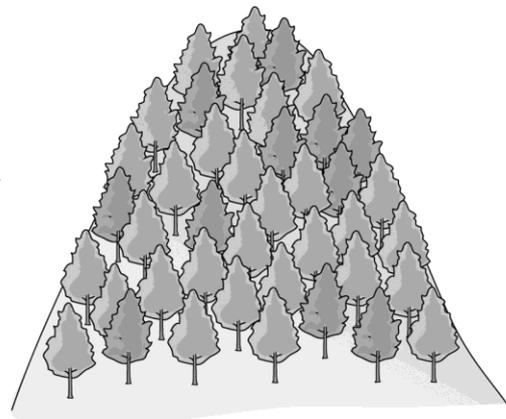
問2 「資料2」は林業において木材を生産する様子を示したものです。④においてより品質の高い木材を出荷するためには、③においてどのような作業が必要か、またなぜそれが必要なのか述べなさい。

〔資料2〕木材が出荷されるまで

① 苗木なえぎを植える



② 木が成長している



④ 木を切り出し、出荷する



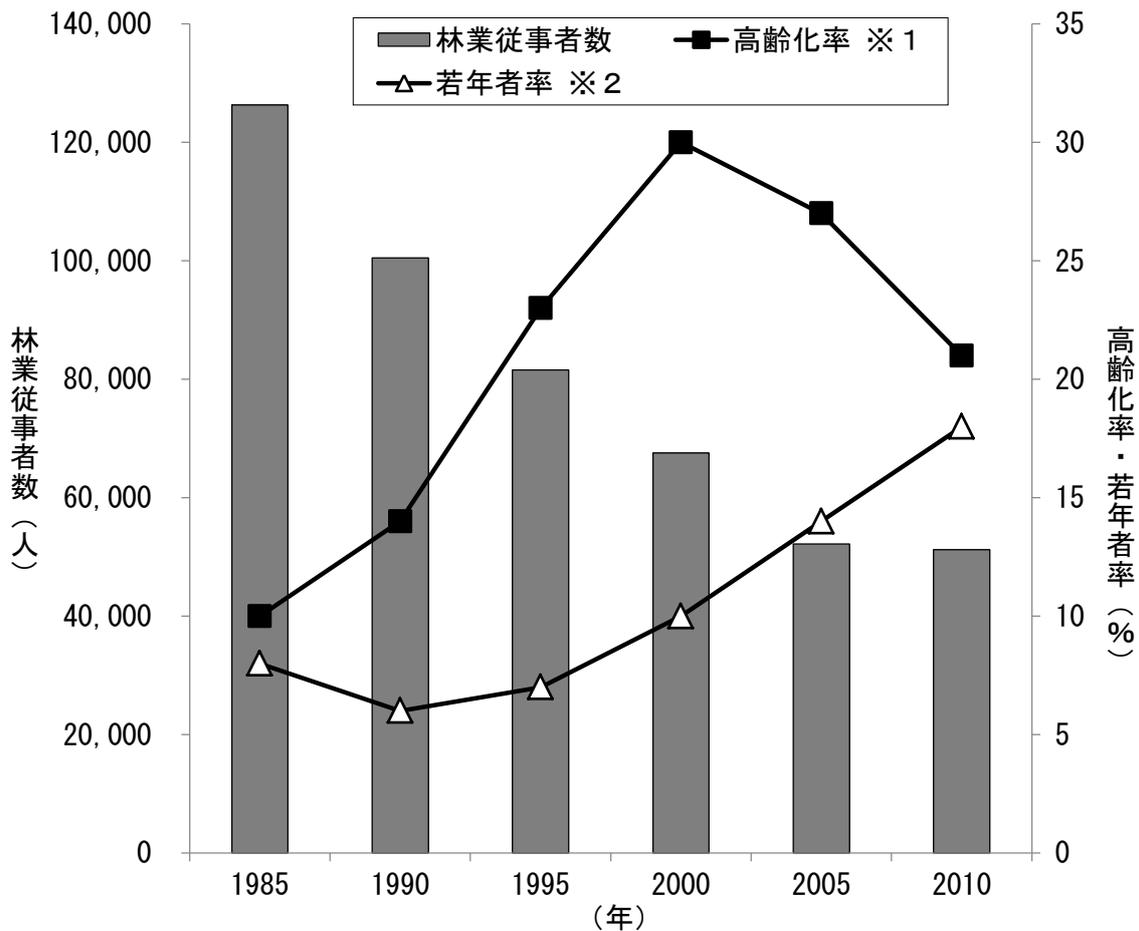
③



問3 日本の林業の移り変わりと現状について、〔資料3〕～〔資料6〕から読み取って以下の問いに答えなさい。

(1) 〔資料3〕より1985年から2010年にかけての林業従事者の変化と、その特徴を読み取りなさい。

〔資料3〕日本の林業従事者の数と割合



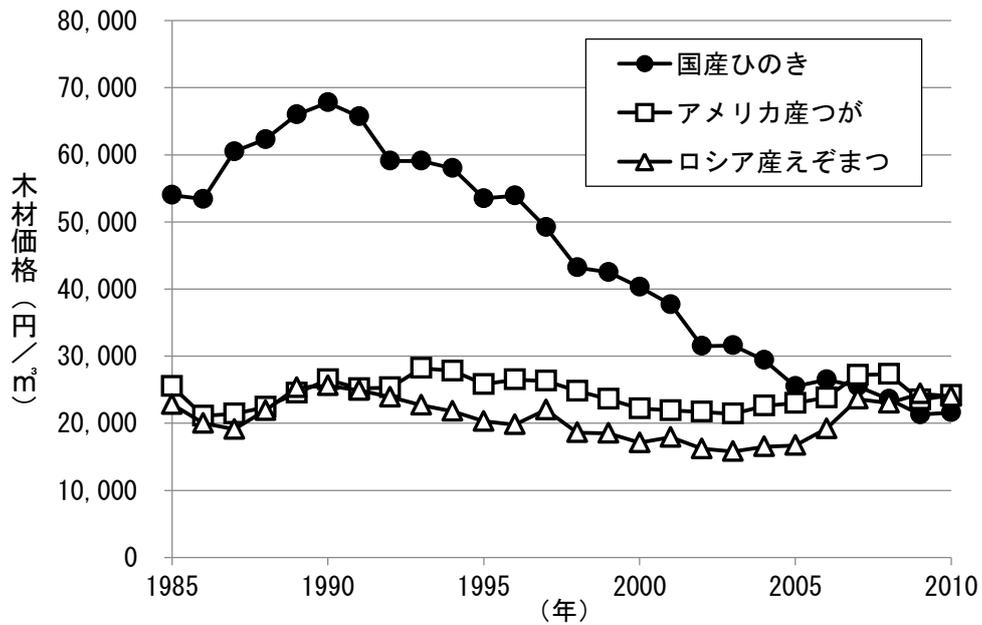
(林野庁「平成26年度 森林・林業白書」より作成)

※1 高齢化率：従事者全体にしめる65歳以上の人の割合

※2 若年者率：従事者全体にしめる35歳未満の人の割合

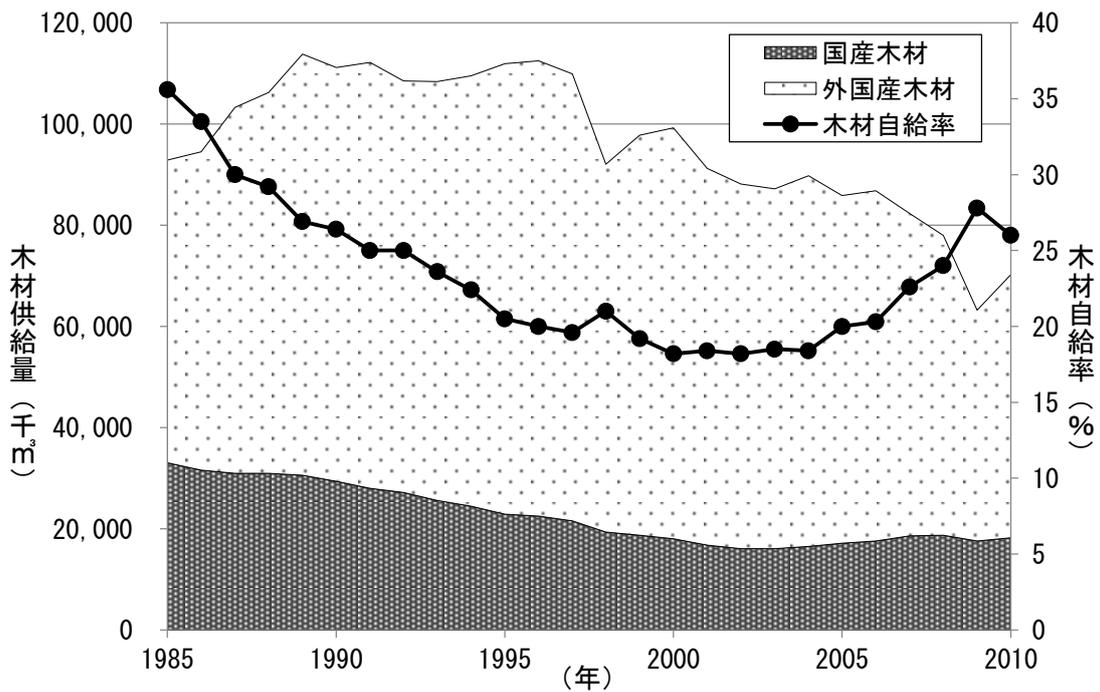
- (2) (1)で読み取った日本の林業従事者の変化が起きたのはなぜか、以下の資料をもちいて、200字から250字で説明しなさい。なお、〔資料4〕～〔資料6〕のすべての資料を使うこととし、どの資料をどのように使ったかがわかるように書くこと。

〔資料4〕日本における木材価格の変化



(農林水産省「木材需給表」より作成)

〔資料5〕日本における木材供給量の変化



(農林水産省「木材需給表」より作成)

## 〔資料6〕農林水産省（林野庁）が行っている「緑の雇用」事業

現在、戦後に植林された木が育ち、利用出来る段階になりました。しかし、安い輸入木材が多く使われることで木材の価格が下がり、林業経営が厳しい状況になっているため、森林の手入れが遅れがちになっています。国産材を安定して流通させるために、先人の残してくれた森林を未来に届けるために、林業は今、森林で働く技能を有した人を必要としています。

2003年に始まった「緑の雇用」事業とは、未経験者の人でも森林の仕事につき、林業で必要な技術を学んでもらうため、森林組合などに採用された人に対し、講習や研修を行うことでキャリアアップを支援するという制度です。

一人前になるには数年かかるといわれている林業技能者。林業の現場作業員としてのスペシャリストになるには様々な技能を習得する必要があります。

「緑の雇用」事業では就業年数に応じて研修の内容をステップアップさせ、将来の林業を支える人になるために必要なさまざまな技能を身につけられるよう体系的に研修プログラムが作られています。

（林野庁『「緑の雇用」総合ウェブサイト』（<http://www.ringyo.net>）をもとにし、  
問題作成のため一部改変しています。）

**問4** 林業における木材供給量や従事者数が大きく変化してきたことを見てきました。日本では林業を維持するためにさまざまな取り組みがなされています。

林業を維持することは木材を得ること以外に、どのように役に立っていますか。例を一つあげて、120字から150字であなたの考えを説明しなさい。

このページ以降に検査問題はありません。

このページに検査問題はありません。



# 受検番号

## 平成29年度（2017年度） 第1学年4月入学選抜検査 適性検査Ⅱ（解答用紙）

問1

|  |
|--|
|  |
|--|

|  |
|--|
|  |
|--|

問2

|         |
|---------|
| 【必要な作業】 |
| 【理由】    |
|         |
|         |

問3 (1)

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

### 〈原稿用紙マスを使う時の注意〉

- ・横書きにする。
- ・書き出しや、段落をかえたときは、最初の1マスをあける。
- ・句読点や、かっこも1字と数える。例：、。 ( ) 「 」
- ・句読点が行の最後にきたときは、マスの外に書いてよい。
- ・数値は1マスの2文字まで入れてよい。例：10 10 .5 1 00

